

令和5年1月5日

(あて先) 熊本市長

住所 熊本県熊本市中央区

団体名 KUMAMOTO まち美化ボランティアの会
代表者 職名 代表 氏名 新田 時也 印



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

令和4年7月5日付け指令(地活)第25号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第21条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

熊本市市民公益活動支援基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業
捨てられたビニール傘に、再び、「いのち」を吹き込もう!!!

2 助成事業の実施期間

令和4年5月1日 ～ 令和4年12月28日

3 助成事業の内容

ゴミとして捨てられているビニール傘を洗浄/マーカーで装飾/飾り物をぶら下げて、芸術作品として蘇らせ、世界に一つしか無い、自分自身のビニール傘を作る事業を行った。そして、各人各様の世界に一つのビニール傘を集めて、水前寺の参道と上通に展示した。

4 事業の成果

数名の高校生、大学生、社会人のほかに、小学生と母親の親子連れが5組、作成する事業に参加した。和気あいあいと作成を行った。ビニール傘のゴミ・アートの展示会も、多くの熊本市民に興味・関心を持ってもらえることが出来たので、ゴミ問題をアートの立場から考え直す良い機会となった。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書(様式第16号)
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業収支決算書

◆収入決算

項 目	金 額	内 訳
会費		
当該事業による収益		
当該事業に対する寄附・協賛金		
その他の自己資金	57	
当該事業に対する助成金額	100,000	
その他の補助金、助成金等【D】		
合 計	100,057	

◆支出決算(事業別)

支出費目		事業名	事業1	事業2	事業3	合計
			捨てられたビニール傘に、再び、「いのち」を吹き込もう!!!			
助成対象経費	人件費		40,000			40,000
	報償費		0			0
	旅費		0			0
	人件費等合計【A】		40,000			40,000
	役務費		12,000			12,000
	使用料・賃借料		16,720			16,720
	事務・消耗品費		31,337			31,337
	委託費		0			0
	合計		100,057			100,057
助成対象外経費						
	合計(助成対象外経費)					0
			総事業費			100,057

助成申請上限額(助成種別:スタートアップ助成)

$$〔\text{助成対象経費}【☆】100,057 - \text{控除額}【E】0〕 \times 10/10 = 100,057$$

※控除額・超過人件費(人件費等の合計が助成対象経費の1/2を超えた部分)とその他助成金の合計

人件費等の合計【A】	40,000	→	超過人件費【C】※	0
助成対象経費の1/2【B】	50,029		その他助成金【D】	
超過人件費【A-B】…【C】	▲10,029		控除額【E】	0

※マイナスの場合は0円

◆支出内訳（事業別）

事業1〔 捨てられたビニール傘に、再び、「いのち」を吹き込もう！！！！ 〕

人件費	≪「世界に一つのビニール傘」の作成≫（ビニール傘の収集、洗浄も含む） 臨時スタッフ人件費 @2,000円×5名（村山、松田、大坂、山口、鋸）×2回。 ≪熊本市を彩るイベント≫（運搬、設置、会場案内も含む） 臨時スタッフ人件費 @2,000円×5名（村山、松田、大坂、山口、鋸）×2回。
報償費	
旅費	
役務費	切手（日本郵便）、@120円×100枚。
使用料・賃借料	くまもと県民交流館パレア 2回×@8,360円
事務・消耗品費	SDGsバッジ（16,280円）、アロンアルファ（3,300円）、グロスコート（3,441円）、ハイマッキー（8,316円）。
委託費	

事業2〔 〕

人件費	
報償費	
旅費	
役務費	
使用料・賃借料	
事務・消耗品費	
委託費	

事業3〔 〕

人件費	
報償費	
旅費	
役務費	
使用料・賃借料	
事務・消耗品費	
委託費	

別紙（１）

事業報告書

実施年度	令和４年度
事業名	熊本市市民公益活動支援基金「公益社団法人熊本法人会ファン」助成事業 捨てられたビニール傘に、再び、「いのち」を吹き込もう！！
事業期間	令和４年５月１日 ～ 令和４年１２月２８日
事業の目的	ビニール傘は安価で利便性もあり、使い捨てされていて、感謝・愛着を持って使われているとは言い難い。大量生産・大量消費の残念な花形といえる。これでは、「物を大切に使う・使い切る」と言う精神が育たない。私たちは、残念な花形のレッテルを貼られているビニール傘に注目して、ビニール傘の価値ある再利用を推し進めることで、使い捨ての生活の在り方に一石を投じることとする。
具体的な事業内容	《「世界に一つのビニール傘」の作成》 開催日時：令和４年８月１９日（金）＆８月２１日（日）。各日、１３：００から１６：００の間。 会 場：くまもと県民交流館パレア （熊本市中央区手取本町８-９ テトリアくまもとビル）、和室。 参加人数：両日、合算して、高校生１２名、大学生３名、社会人１名、小学生と母親の子ども連れ５組。 内 容：われわれ団体のスタッフが、捨てられているビニール傘を、きれいに洗浄して、参加者に渡した。マーカサインペンなどで思い思いのデザインを描いたり、グッズを吊り下げたりと、参加者ひとりひとりの「世界に一つのビニール傘」を作り上げた。 《熊本市を彩るイベント》 開 催 日：令和４年９月１０日（土）＆９月１１日（日）。 会 場：① ９月１０日（土）は水前寺参道（１１：００から１１：４０）と成趣園（１１：５０から１３：００）。② ９月１１日（日）はナポレオン（熊本市中央区上通町８-２６、１４：００から１５：００）。 内 容：ビニール傘で作ったゴミ・アートの展示。 【参加者の募集/展示会の告知について】 募集は、SNS 以外に、図書館や学校に郵送で、ポスターやチラシを送付した。令和４年７月２０日、７月２１日、７月２２日、７月２３日、７月２４日の５回に渡り、２０通ずつ（計１００通）。
実施場所	くまもと県民交流館パレア、水前寺参道、ナポレオン（熊本市中央区上通町８-２６）。
協力団体	協力：グリーンアドバンス熊本 （熊本市内の美化団体。代表：新田 時也。メンバー：およそ２０名）
事業の効果・公益性	ビニール傘のゴミ・アートは、唯一のものであるので、ものに対しての愛着が生まれたようである。ポイ捨てを止める効果にもつながると考えられる。
次年度以降の事業展望	まちなかの美化活動は、まずは、美化の大切さへの意識改革が必要である。わたしたちは、捨てられたゴミには、まだまだ、いのちを吹き込めば再利用ができることを、今後も訴え続けていきたい。
事業への想い （当事業によってどのような熊本市にしていきたいか）	本事業を通して、多くの熊本市民に、美化に目覚めた意識を持っていただいて、ものを大切にする、ポイ捨ての無い、きれいな熊本市を目指したい。